

※1年前(2025年8月24日)の第33回本社総支部定期大会の様子です。

本社総支部第33回定期大会

**本社総支部の最高決議機関で、
向こう1年間の新たな運動方針を確認する！**



2025年8月24日(日) CIVI北梅田研修センターにおいて、各分会選出の代議員53名、中央本部羽野中央執行委員長、杉野教育部長をはじめとする来賓を迎え、本社総支部第33回定期大会を開催し、この1年間の活動経過報告と向こう1年間の運動方針を満場一致で採択した。

代議員質疑では、12名の代議員から計28件の発言が総支部執行部ならびに中央本部役員に届けられ、2025年度の運動方針に対する肉付けが行われた。

役員選出では、大西執行委員長、北、野口両副執行委員長、藤田書記長を三役とする新役員体制の発足が確認され、大西執行委員長による力強い「団結ガンバリー！」で締めくくった。

■そもそも本社総支部大会とは？

本社総支部の最高決議機関です。毎年8月に開催し、本社総支部役員と選挙により選ばれた代議員の参加のもと、「執行経過」「運動方針」「予算決算」「多額の資産の処分」「規則細則の制定・改廃」などを扱うほか、大会中に新役員選挙を実施します。

UniPro 速報



本社総支部ホームページ
UniProデジタル

組合情報がお手持ちのスマホで！



**2025年8月25日
No. 3**

西日本旅客鉄道労働組合 本社総支部

〒530-0011
大阪市北区大深町2-189

中津総合庁舎6階

●NTT 06-6375-2314

●発行:大西 広紀

●編集:藤田 祐也

■大西執行委員長挨拶(要約)

【安全】安全は与えられるものではなく、一人ひとりの考動で成り立つ。

安全考動計画も折り返しであり、ABC運動を全職場で実践し、福知山線列車事故の教訓を語り継いでいく。

【協約・春闘】短日数勤務や選択的週休3日制などの改善成果を踏まえ「人財への投資」を労使共通の認識として、光の当たらないところに光を当てる継続的質上げを求める。

【業務】少ない労力で成果を上げる働き方改革を進め、働きがいのある間接部門をつくっていききたい。

【組織】社員の価値観が多様化する中で画一的な加入行動は困難であり、分会と知恵を出し合い、組織化を模索する。

【政治】信頼できる議員個人を支援し、政策実現につなげる。無関心でも無関係ではられない。

■代議員からの質疑(抜粋)

【病院/医療関係】

- ・副看護師長のL職への昇職を実現してほしい
- ・学会発表時の取り扱いを諸会合ではなく、出張扱いとしてほしい
- ・諸会合でもブリージャーが使えるようにしてほしい
- ・資格取得一時金制度を取得時に加え更新時にも適用できるようにしてほしい
- ・職務手当の支給水準に差が生じており、水準の是正のほか、対象を拡大してほしい
- ・時間単位で年休を取得できるようにしてほしい
- ・薬剤師の処遇改善を実現してほしい
- ・設備修繕に即応できるよう、現場長決裁のような制度を導入してほしい

【諸制度改善】

- ・小学生の育児休職の条件制限を撤廃してほしい
- ・住宅補助金を増額してほしい
- ・FLEXマルヨに対する手当支給を実現してほしい
- ・列車長をはじめとする瑞風の役職者に手当を支給してほしい
- ・帰省等交通費の利用回数を拡大してほしい
- ・在宅勤務手当を実現してほしい
- ・列車長をはじめとする瑞風の役職者に手当を支給してほしい
- ・同一地域長期出張時の宿泊日当減額の見直しをしてほしい

【間接部門の働き方】

- ・社員管理の徹底と現場フォロー体制の強化を実現してほしい
- ・プロジェクトを遂行する組合員への一時金や昇進面での優遇をしてほしい
- ・PJや育休取得も見越し、業務量に見合った要員補充をしてほしい

【組合活動の在り方】

- ・救援共済の適用基準に「家族が危篤の場合」を追加してほしい
- ・リモート活用を含めた組合活動の近代化をしてほしい
- ・ユニオンショップ制を導入してほしい



発言いただいた代議員のみなさん



新たなメンバーで始動する、本社総支部をどうぞよろしくお願いいたします！